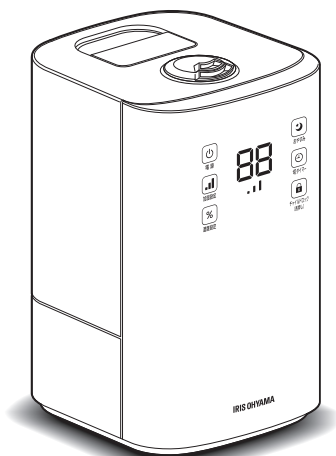


上給水ハイブリッド加湿器

型番 KHM-HBU501

取扱説明書



保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。

もくじ

ご使用前に

| | |
|----------------|----|
| 安全上の注意 | 2 |
| 使用上の注意 | 7 |
| 各部の名称 | 8 |
| リモコンについて | 11 |

取り扱いかた

| | |
|------------|----|
| 準備 | 13 |
| 使いかた | 14 |
| お手入れ | 18 |

こんなときには

| | |
|-------------------|-----|
| 故障かな?と思ったら | 23 |
| 仕様 | 26 |
| 保証とアフターサービス | 27 |
| 保証書 | 裏表紙 |

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上の注意

はじめに、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号
です。



禁止を示す記号
です。



必ず行うことを示す
記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。



- 屋外で使用しない
火災の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源
プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 使用中、時々電源が切れる
 - 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお
問い合わせください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理につい
ては、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



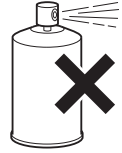
- 隙間や吹き出し口から指や金属などの異物を入れない
感電やけがの原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児
に触れさせたりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤・整髪料・潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
発火・火災の原因になります。



電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



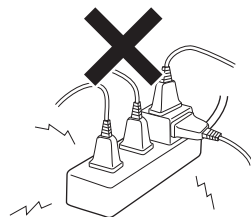
- 交流100V以外では使わない
- 海外で使用しない
火災・感電の原因になります。
本製品は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる海外の電源では使用しないでください。
- 電源コードを傷付けない
- 電源コードを引っ張らない
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき

電源コードは正しく使う つづき



- 電源コードをコンセントから抜くときは、コードを無理に引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷し、火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。
- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。
- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
発火・火災の原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない
転倒によるけがや火災の原因になります。



プラグを抜く

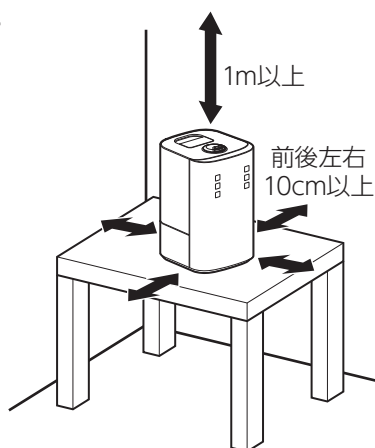
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。

設置について



- 加湿された風が、壁・家具・カーテン・電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける

壁・家具・カーテンなどの汚損の原因になります。また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。吹き出し口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- 水平で安定した台の上で使用する

床ぬれのおそれがありますので、必ず台の上に設置してください。毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して周囲の汚損の原因になります。また、吸気口がふさがれ、蒸気が出にくくなることがあります。不安定な台や、高いところに設置すると、落下してけがや家財の破損の原因になります。



- 暖房機・テレビ・ホットカーペットなど、電気製品の上に設置しない
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。



- 水タンク・ふたを正しく取り付け
● ふたは必ず取り付けて使用する
水もれや周囲の汚損の原因になります。



- 吸気口や吹き出し口をふさがない
蒸気の吹き出し口をタオルやカーテンでふさがないでください。また、底面の吸気口がふさがれないよう加湿器の下にシートやマットを敷かないでください。水もれや過熱の原因になります。

安全上の注意 つづき

水タンクの水について



- **毎日新しいものに取り替える**
水タンクは毎日洗い、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発生したり健康を害する原因になります。
- **1週間以上使用しない場合は、必ず水タンクおよび本体内の水を捨てる**
水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。
- **凍結しそうなときは、水タンクおよび本体内の水を捨てる**
凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



- **水道水以外は使用しない**
40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。



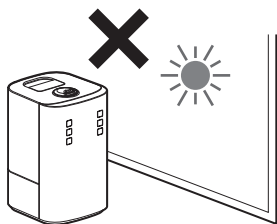
- **水タンクに水が入ったまま移動しない**
水タンク・本体内部に水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がもれて周囲の水ぬれの原因になります。
移動するときは、水タンク・本体内部の水を捨ててください。
- **転倒させない**
水もれや火災の原因になります。
転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。
万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。



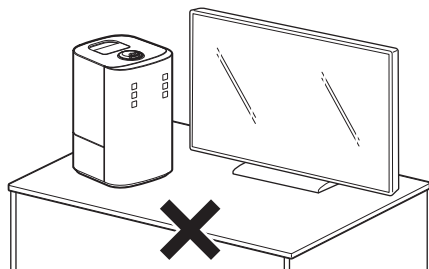
- **移動するときは、本体を下から持つ**
水タンクに水が入っているときは、先に水タンクを取り出して中の水を捨ててから移動させてください。

使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しない
変形・変色したり、誤動作することがあります。



- ラジオやテレビに近づけない
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- ベンジンやシンナーで拭いたりしない
破損・故障の原因になります。

- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには置かない
正常に動作しないことがあります。

使用環境について

- 室温は5～35℃で使用してください。

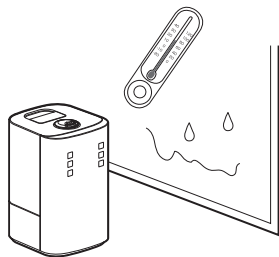
室温が低いと床ぬれや結露が起こりやすくなります。
加湿設定ボタンでこまめに加湿量を調節したり、室温を上げたりして使用してください。

窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。

また、水道水中のミネラル成分が家具やテレビなどに付着後乾燥し、白い粉のようになることがあります。有害ではないので、タオルなどで拭き取ってください。

- 加湿のしすぎによる床ぬれや結露に注意してください。
部屋の環境に注意しながら、こまめに加湿量を調節してください。

- エアコンや暖房器具の風が当たる場所、ドア付近（※）などは避けてお使いください。
湿度の感知方法・構造などの違いにより、市販の湿度計と本製品の現在湿度が異なることがあります。また、空気の流れが良い場所と悪い場所、床や畳などの低い場所と床から離れた場所などは湿度に差があるので、現在湿度の表示は異なります。
※ ドアの開閉により、湿度が安定しません。

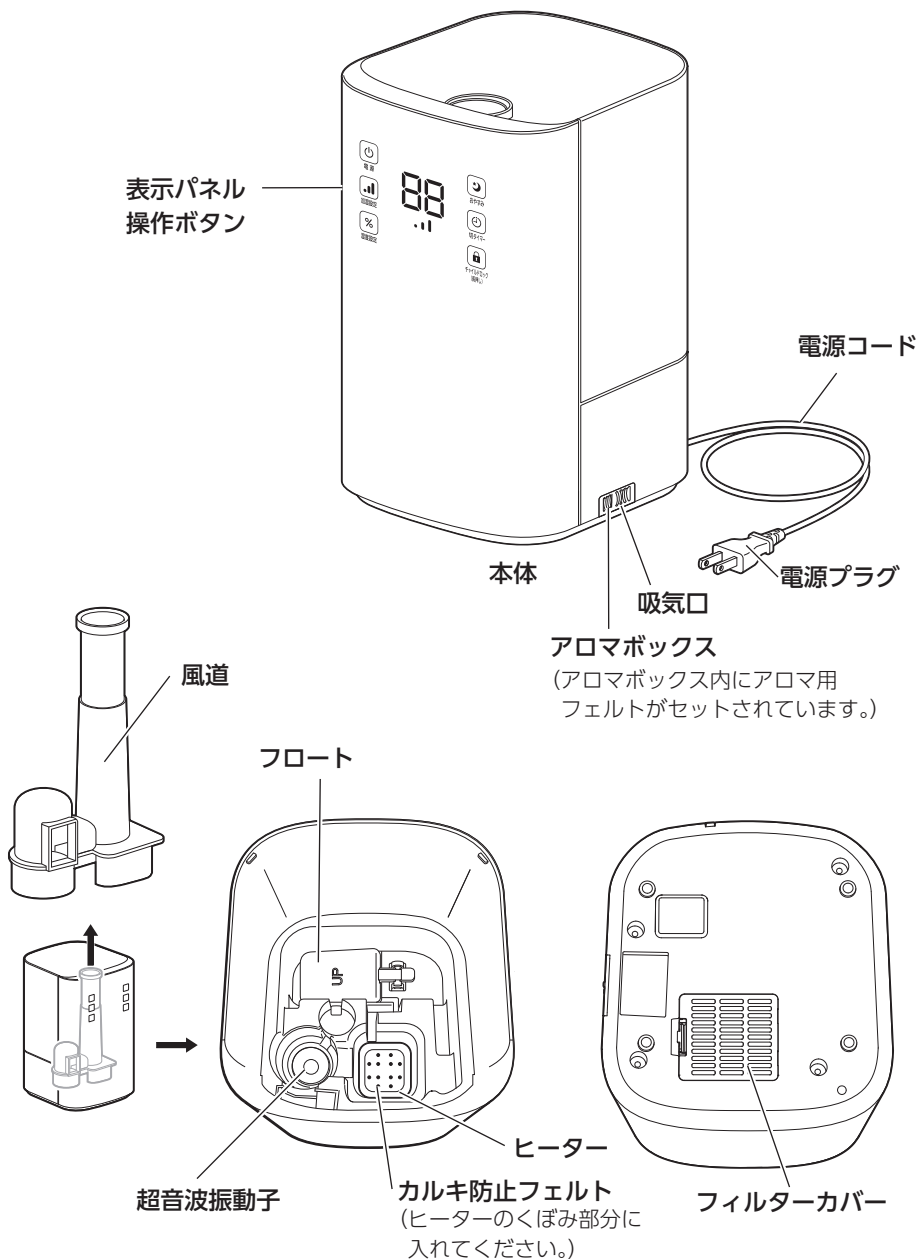


廃棄について

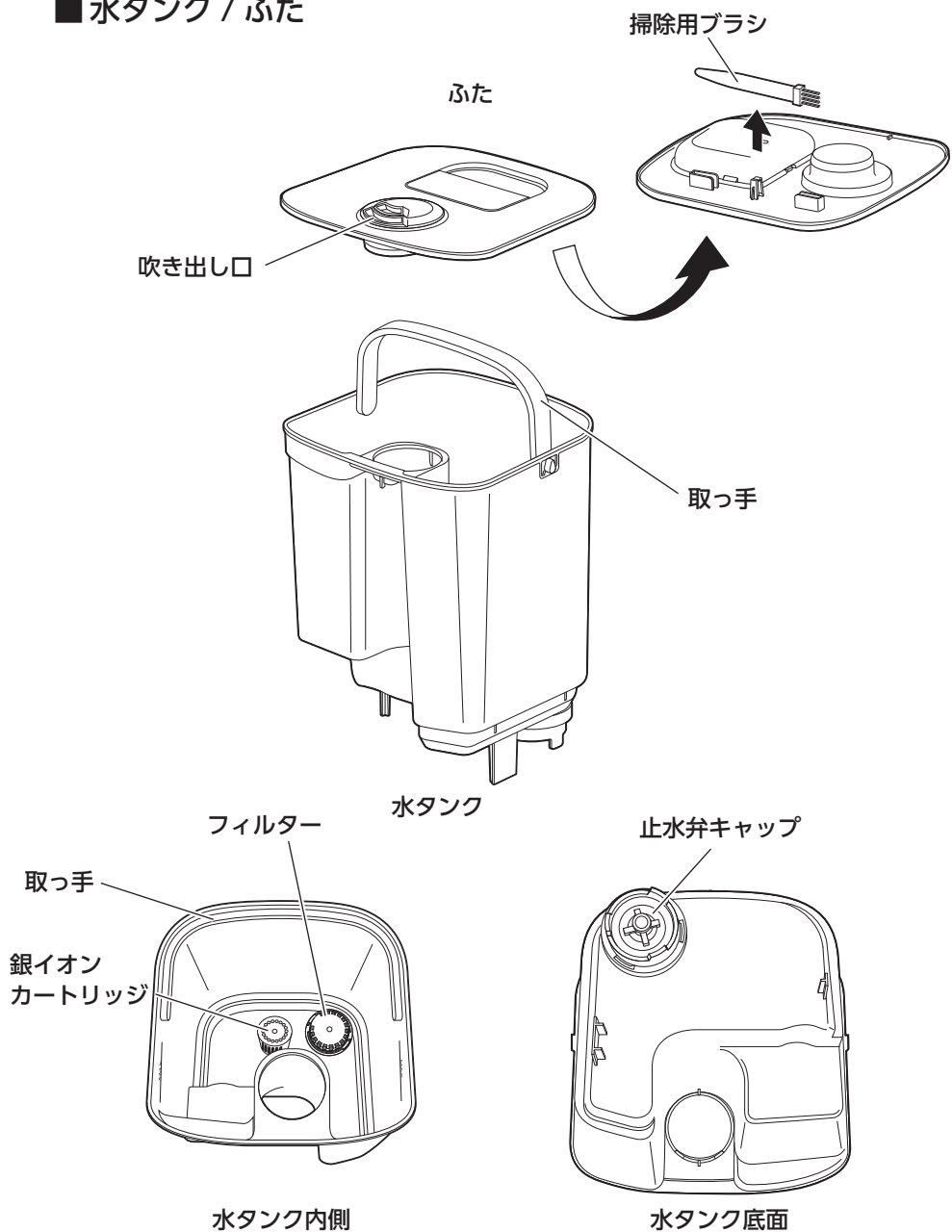
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

■ 本体



■ 水タンク / ふた



各部の名称 つづき

■ 表示パネル・操作ボタン

電源ボタン

ボタンを押すと電源が入り、運転を開始します。運転中にボタンを押すと、電源が切り状態になり、運転が停止します。(→P14)



電源



加湿設定



湿度設定

湿度設定ボタン

湿度の設定をするときに使います。(→P15)

加湿設定ボタン

加湿モードの設定をするときに使います。(→P14)

→ 弱 → 中 → 強

湿度表示

現在の湿度を表示します。



おやすみモードボタン

ボタンを押すと表示パネルのLEDが消灯(加湿モードのみ表示)します。(→P15)



おやすみ



切タイマー



チャイルドロック
(長押し)

チャイルドロックボタン

チャイルドロックの設定をするときに使います。(→P16)

切タイマーボタン

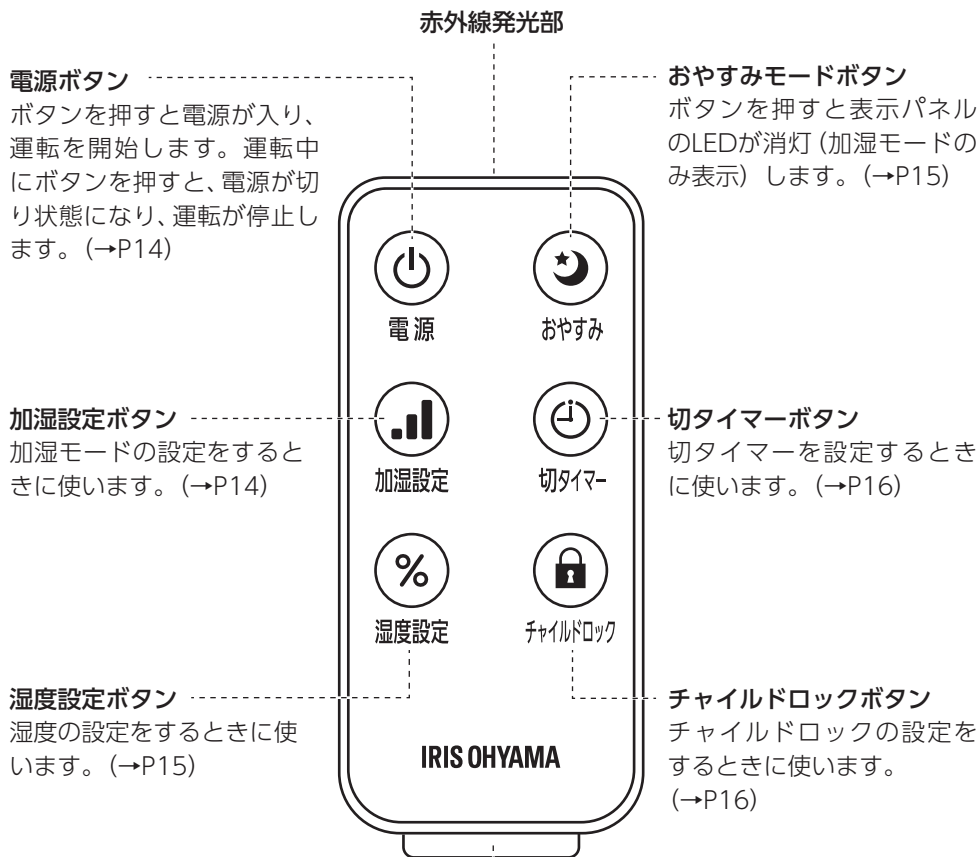
切タイマーを設定するときに使います。(→P16)

- 給水マーク：水タンクが空になると赤色で点滅し、運転を停止します。水タンクに給水してセットすると消灯します。(→P14)
- 加湿モードマーク：加湿モード設定中に表示します。(→P14)
- チャイルドロックマーク：チャイルドロック設定中に点灯します。(→P16)

リモコンについて

リモコンの赤外線発光部を、本体正面に向けて操作してください。

- リモコンと本体の間に障害物がないことを確認してください。
また、本体とリモコンは5m以内の距離で使用してください。



保護シート

※使用前に電池の保護シートを引き抜いてください。



引き抜く

リモコンについて つづき

■ 電池の交換方法

操作範囲がせまくなったり、操作ボタンを押しても動作しなくなった場合は、新しい電池（CR2025）に交換してください。

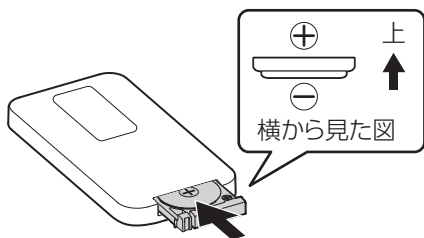
1 電池ホルダーを引き抜く

- つめを矢印方向へ押さえながら、引き抜いてください。



2 新しい電池をセットする

- 電池ホルダーに、新しい電池を正しい向きにセットし、リモコン本体に差し込んでください。



- ※ 電池の表裏を間違えないでください。
- ※ 使い終わった電池は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。（CR電池は、ボタン電池回収処理の対象ではありません。）
- ※ 電池はお子様の手の届かない所に保管してください。

電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。液がもれた場合は、電池ホルダーについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 廃棄するときは、セロハンテープなどを貼って絶縁してください。ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。



分解禁止

- 分解しない皮膚や衣服を損傷することがあります。

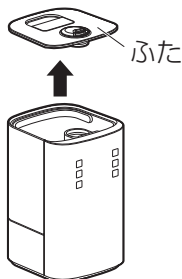


- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しないショートして液もれや破裂の原因になることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- コイン電池は絶対に充電しない破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

準備

■ 水タンクに水を入れる

1 ふたを取り外す



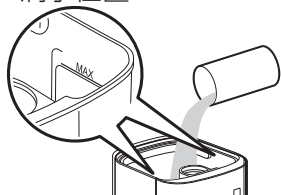
2 水タンクに水道水を入れる

満水位置 (MAX) より水を多く入れないでください。

※ 水タンクに水を入れるときは、必ずふたを取り外してください。

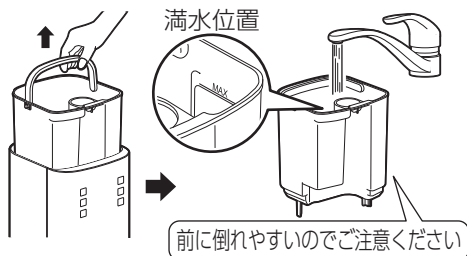
- 水タンクをつけたまま
→ コップなどで入れる

満水位置



- 水タンクを外して
→ 蛇口から水タンクに直接入れる

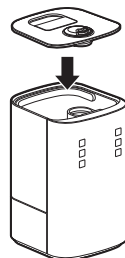
満水位置



※ 本体に水を直接入れないでください。
誤って入れた場合は、必ず水を捨て、
水タンクを使用してください。

3 ふたを取り付ける

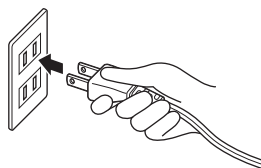
図の方向に合わせて取り付けてください。



注意

- 必ず水道水を使用してください。
40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。
かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。

4 電源プラグをコンセントに差し込む



使いかた

■ 運転を開始するには

電源ボタンを押す

- ・加湿モード「弱」で運転を開始します。
- ※ 使用後コンセントを抜かず、再び使用すると前回の設定で運転を開始します。



※ 水タンクが空の場合は、ブザーが3回鳴り、給水マーク●が点滅します。水タンクに給水してセットすると、加湿がスタートします。

■ 運転を停止するには

電源ボタンを押す

- ・運転を停止します。



- 長期間使用しないときは水タンクと本体内の水を捨ててください。(→P18)

■ 加湿モードの切り替え

- ・加湿設定ボタンを押すたびに、加湿のモードが次のように切り替わります。



■ 空焚き防止機能

- ・水タンクの水がなくなると、ブザーが3回鳴り、給水マーク●が赤色に点滅して運転が停止します。(他の表示は消灯します。)
- ※ 停止後3分間はファンが動作し続けます。



- ・水タンクに給水し(→P13) 本体にセットすると、運転を再開します。(給水マーク●は消灯します。)
- ※ 加湿器内に水が残っているときは、水タンクを取り外しても、給水マーク●は点滅せず、運転は停止しません。運転したまま水タンクを取り外すと、周囲の水ぬれや水温が上がっているためやけどのおそれがあります。

■ 湿度設定

お好みの湿度に設定して、自動運転をすることができます。

- 40～70%の範囲で、5%単位で設定できます。



● ● 設定なし(連続モード)

- 設定したい湿度を表示させ、表示が3回点滅すると設定が決定されます。
- ※ 設定を取り消す場合は、**湿度設定**ボタンを2秒長押ししてください。

加湿中に設定した湿度を確認するときは、再度**湿度設定**ボタンを押してください。

周囲の湿度が設定に達すると、自動で加湿運転を停止し、待機状態になります。

(ファンは停止しません)

- ※ 設定値より周囲の湿度が5%下がると、自動で運転を再開します。

本製品に搭載されている湿度センサーと、お部屋の湿度計では感知方式や構造の違いにより、相違が生じることをあらかじめご了承ください。

■ おやすみモード

おやすみモードにすると、表示パネルのLEDを消灯することができます。(加湿モードマークのみ表示)
就寝時などに使用してください。

- **おやすみモード**ボタンを押すと、表示パネルのLED表示が3回点滅し、加湿モードマーク以外のLED表示が消灯します。



- 再度**おやすみモード**ボタンを押すと、**おやすみモード**は解除されます。表示パネルのLED表示が3回点滅してブザーが鳴り、表示パネルのLED表示が元通り点灯します。
- ※ **おやすみモード**起動中は、湿度設定・切タイマーの操作はできません。

使いかた つづき

■ 切タイマー

設定した時間後に運転を停止して電源を切ることができます。

- ・切タイマーボタンを押すたびに、次のように時間が切り替わり、切タイマーがスタートします。
- ・1～9時間の範囲で、1時間単位で設定できます。



● ● 設定なし(連続モード)

- ・設定したい時間を表示させ、表示が3回点滅すると設定が決定されます。
- ※設定を取り消す場合は、**切タイマー**ボタンを2秒長押ししてください。

加湿中に残り時間を確認するときは、再度**切タイマー**ボタンを押してください。

設定した時間が経過すると、運転を停止して電源が切れます。

■ チャイルドロック

チャイルドロックを設定すると、ボタンの操作ができなくなります。

- ・チャイルドロックボタンを2秒長押しすると、チャイルドロックの設定／解除ができます。

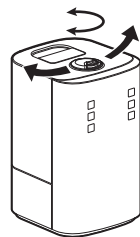


- ・チャイルドロックを設定すると、**チャイルドロックマーク** ● が点灯します。

■ 吹き出し口の方向調節

吹き出し口は大・小ともに、360°回転して、吹き出しの方向を変えることができます。

加湿器の置き場所によって、大・小ともに同じ方向に向けたり、別々の方向へ向けたりして加湿する向きを調節してください。



注意

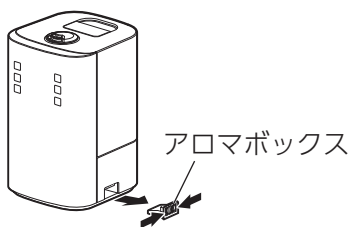
- 吹き出し口が大・小とも同じ方向を向いていると、床がぬれることがあります。また、床がぬれることを防止するため、使用環境に注意してください。(→P7)

■ アロマボックスの使いかた

アロマボックスに市販のアロマオイルを滴下することで、室内にアロマの香りを広げることができます。

1 アロマボックスを引き出す

- 電源が切れていることを確認し、アロマボックスの左右に指をかけ、真つすぐ引いて取り出す。



2 アロマオイルをたらす

- アロマボックスのフェルトに、市販のアロマオイルを、こぼれないよう数滴(2～3滴)しみ込ませる。



※アロマオイルを2種類以上使い分けしている場合、その都度フェルトを交換してください。

※フェルトが古くなった場合、予備で付属しているフェルトを使用するか、脱脂綿やスポンジでも代用できます。

3 アロマボックスを本体に戻す

- 運転を開始すると、アロマが香ります。



注意

- 水タンクや本体に直接アロマオイルを入れしないでください。
- アロマオイルが本体や水タンクなどに付着しないように注意してください。製品が変形・故障して水もれなどの原因になります。

アロマオイルについては、以下の注意を守って使用してください。



警告

- 妊娠中の女性・乳幼児・身体の弱い方などがある場合は、使用量・使用方法に注意する
- 子どもの手の届かないところに保管する



注意

- 火気に近づけない
- 衣服などについた場合は、流水でよく洗い、自然乾燥させる
- 発火のおそれがあるので、乾燥機は使用しない
- 手や身体についた場合は直ちに洗い流す
- アロマオイルに記載の使用上の注意事項を守る

お手入れ



注意

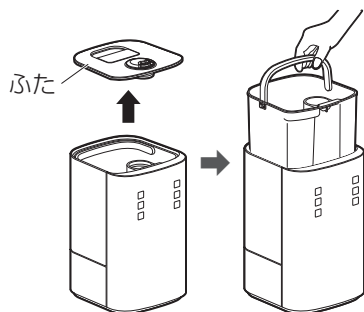
- お手入れは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。

- シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

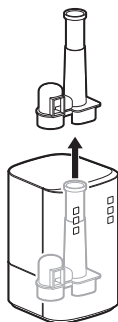
■ 水タンク 使うたび

1 ふたを取り外し、取っ手を持って水タンクを取り出す

取り出すときは、水タンク底面に付いた水滴にご注意ください。

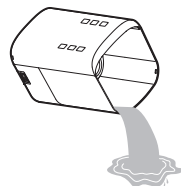


2 本体から風道を取り外す



3 水タンクと本体の水を捨てる

- 本体の水を捨てるときは、必ず図の方向から捨ててください。
- 電源プラグに水がかからないようにご注意ください。



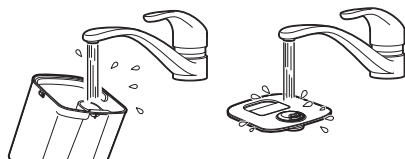
※ 本体の外側についた水気は拭き取ってください。



注意

- 本体の排水方向を間違えると、製品内部に水が浸入し、故障のおそれがあります。
- 電源を切った直後は、ヒーター周辺の水が熱くなっている場合があるため、手が触れないように注意してください。

4 水タンクを流水で洗う

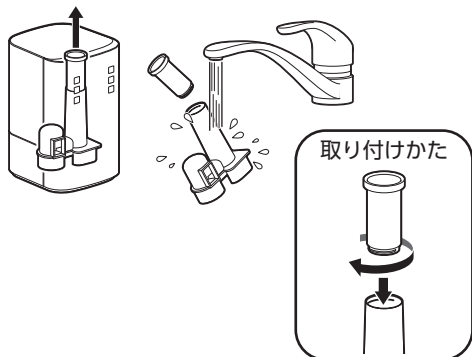


ふた（吹き出し口）は汚れ具合に応じて、洗ってください。

5 風道・水タンク・ふたの順に取り付ける

■ 風道 2・3日に1回

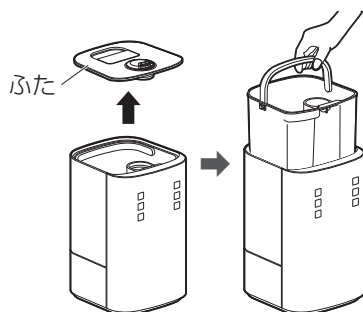
本体から取り外し、水洗いをして乾燥させる。



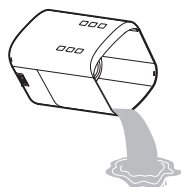
■ 本体 2週間に1回

1 ふたを取り外し、本体から水タンクを取り出す

- ・ 風道も取り外してください。



2 水タンクと本体に残っている水を捨てる



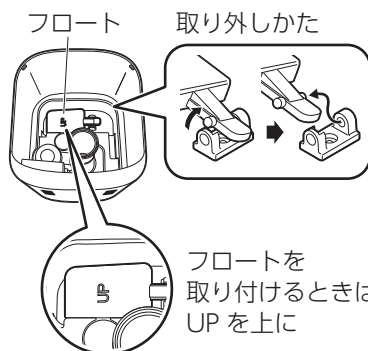
3 お手入れをする

本体 (内側)

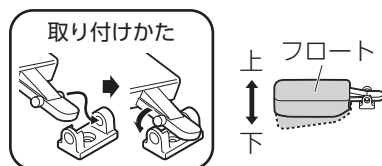
- ・ 外側に水がかからないよう、やわらかいスポンジなどで洗ってください。

フロート

- ・ フロートは取り外して、水またはクエン酸水溶液 (→P22) で洗ってください。
- ・ フロートを取り付けの際はUPが上にくるように取り付けてください。



※フロートは取り付けたあと、上下にスムーズに動くことを確認してください。



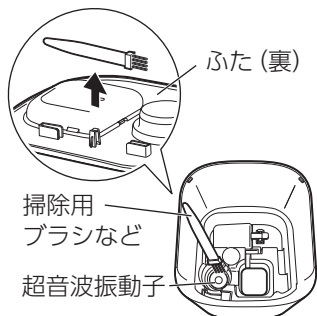
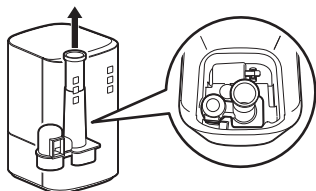
つづく→

お手入れ つづき

超音波振動子

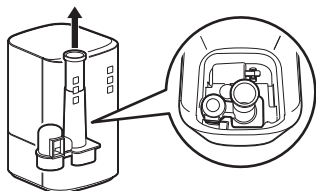
- 超音波振動子は、付属の掃除用ブラシまたは綿棒などでやさしく掃除してください。

※超音波振動子に汚れや傷が付くと、加湿量が低下したり、加湿しなくなったりします。



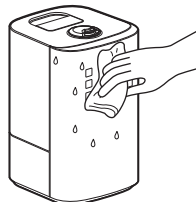
ヒーター・カルキ防止フェルト

- ヒーターはやわらかい布などで汚れを拭き取り、カルキ防止フェルトは取り外して水洗いしてください。



4 風道・水タンク・ふたを取り付け、やわらかい布で拭く

- 水気をよく拭き取ってください。

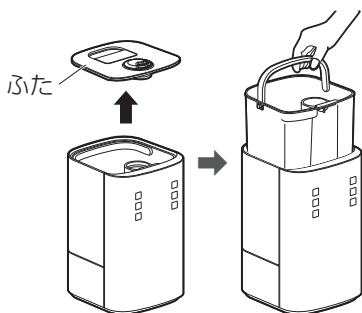


■ 止水弁キャップ

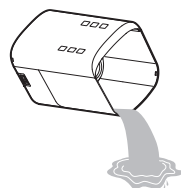
止水弁キャップ：1か月に1回

1 ふたを取り外し、本体から水タンクを取り出す

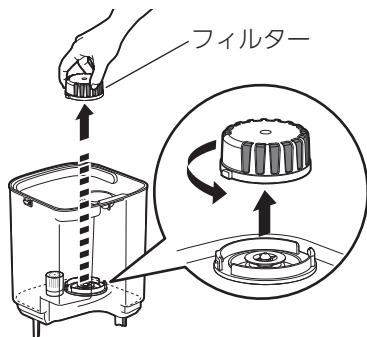
- 風道も取り外してください。



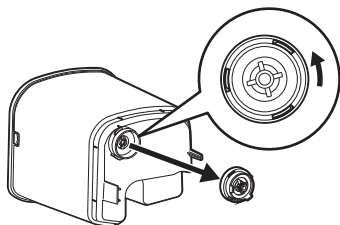
2 水タンクと本体に残っている水を捨てる



- 3** 水タンク内のフィルターを取り外す
フィルターを反時計回りに回し、取り外してください。

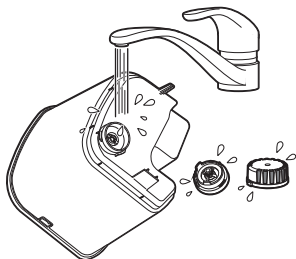


- 4** 水タンクを裏返し、底のほうから止水弁キャップを取り外す
止水弁キャップは反時計回りに回し、取り外してください。



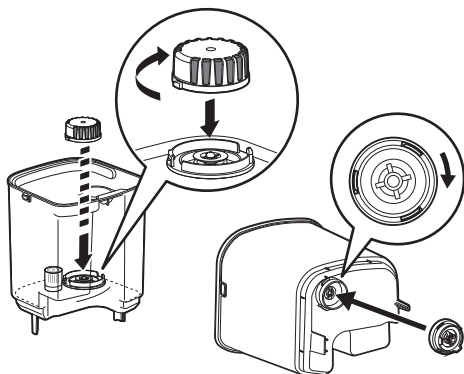
- 5** 水タンク、水タンク内のフィルターと止水弁キャップを洗う

水洗い、またはクエン酸水溶液に入れ、5～10分置いてから新しい水で2～3回すすぎ洗いをしてください。



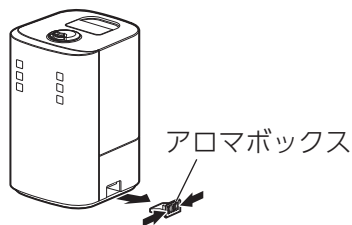
- 6** フィルターと止水弁キャップを、元通り取り付け

- ・ フィルターを時計回りに回し、取り付けてください。
 - ・ 止水弁キャップは、水タンク底面に時計回りに回して取り付けてください。
- ※ しっかり取り付けないと、水がもれるおそれがあります。

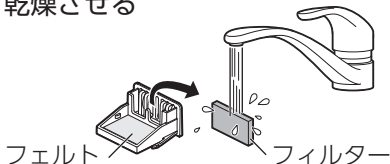


■ アロマボックス (フィルター) ほこりがついたら

- 1** 本体からアロマボックスを取り外す



- 2** フィルターを取り出して水洗いし、乾燥させる



お手入れ つづき

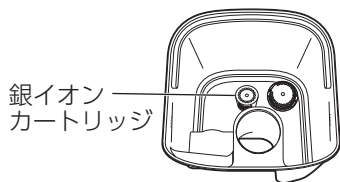
■ 銀イオンカートリッジ

1 か月に 1 回

1 ふたを取り外し、本体から水タンクを取り出す

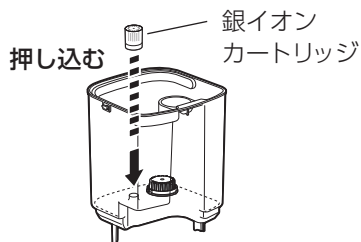
2 水タンクに残っている水を捨てる

3 水タンクに銀イオンカートリッジが浸る量のクエン酸水溶液を入れ、2～5分置いてから水で洗い流す



※ 銀イオンカートリッジから白い粉や黒い粉が落ちることがありますが、性能や使用上の問題はありません。

銀イオンカートリッジが外れたら、上から真っすぐ押し込んで取り付けてください。



クエン酸水溶液の作りかた

水かぬるま湯（40℃以下）に以下の比率で加え、よく溶かしてください。

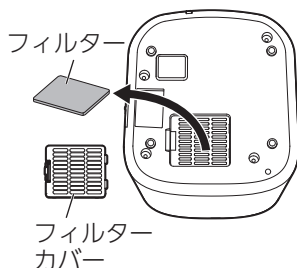
- **クエン酸水溶液**：水3Lあたり、市販のクエン酸20g（または大さじすりきり2杯）

※ 濃度が高いと、破損の原因になります。

■ 底面の吸気口 定期的に

吸気口にはほこりがつまると加湿されないことがあります。本体のお手入れをする際に確認してください。

1 底面のフィルターカバーを開けて、フィルターを取り出す



2 フィルターを水洗いし、乾燥させる



3 フィルターを元通り取り付け、フィルターカバーを閉める

■ 長期保管をするときは

お手入れをして、よく乾燥させてから保管してください。汚れや水分が残ったまま長期保管すると、悪臭やかびなどが発生する原因になります。

- 銀イオンカートリッジは、保管する前に約1週間ほど自然乾燥させてください。
- 購入時の箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせ、高温多湿の場所を避け、立てて保管をしてください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

| 状態 | 考えられる理由 | 処置 |
|-----------------------|------------------------------------|---|
| 電源が入らない | ● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない | ● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 |
| 加湿されない (給水マーク●が点滅) | ● 水タンクの水を使い切った | ● 水タンクに給水してください。 (→P13) |
| | ● フロートを取り付けていない | ● フロートを取り付けてください。 (→P19) |
| 加湿されない | ● 設定湿度に達している | ● 設定湿度に達したときは加湿を停止し、設定湿度を下回ると加湿を再開します。連続で加湿したいときは、湿度設定を -- にしてください。(→P15) |
| 霧の出が 少なくなった | ● 毛足の長いカーペットの上に置いている | ● 水平な台の上に置いてください。 |
| | ● 超音波振動子が汚れている (水あかなどが付着している) | ● 掃除用ブラシまたは綿棒で、超音波振動子の掃除をしてください。 |
| | ● ふたの吹き出し口が汚れている (水あかなどが付着している) | ● ふたのお手入れをしてください。 (→P18) |
| | ● 本体内部の水位が高い | ● 電源プラグを抜き、水タンクの止水弁キャップがきちんと閉まっているか、水タンクに破損がないか確認してください。 ● 本体内部の水をすべて捨て、再度水を入れ直してください。 |
| | ● 水面に油分が浮いている | ● 本体内の水を捨てて、ティッシュペーパーで拭いてください。 |

故障かな？と思ったら つづき

| 状態 | 考えられる理由 | 処置 |
|------------|--------------------------------|---|
| 霧の出が少なくなった | ● 本体に直接水を入れている | ● 本体の水を捨てて、必ず水タンクに水を入れて使用してください。 |
| | ● 底面の吸気口にほこりがつまっている | ● 吸気口のほこりを取ってください。(→P22) |
| | ● ヒーターが汚れている (水あかなどが付着している) | ● ヒーターの表面についた汚れをやわらかい布で拭き取ってください。 |
| においがする | ● 本体内部や水タンク内部が汚れている | ● 本体や水タンクのお手入れをしてください。(→P18～20) |
| | ● 水タンク内の水が古くなっている | ● 本体と水タンクの水を捨て、お手入れして、新しい水を入れてください。 |
| 湿度が上がらない | ● 部屋が適用床面積より広すぎる | ● 適用床面積以内で使用してください。(→P26) |
| | ● 窓やドアが開いている | ● 窓やドアを閉めて使用してください。 |
| 床がぬれる | ● 室温が低い | ● 室温が低いと床ぬれが起こりやすくなります。暖房などと併用して使用してください。 |
| | ● 床の上で使用している | ● 床の上に直接設置すると床ぬれが起こりやすくなります。水平で安定した台の上などに設置してください。 |
| | ● 連続運転で加湿している | ● 部屋の湿度が高い時に加湿し続けると、床ぬれの原因になります。湿度設定をすることで、加湿のし過ぎを防げます。 |

| 状態 | 考えられる理由 | 処置 |
|-------------------|---------------------------|---|
| 床がぬれる | ● 吹き出し口が大・小ともに、同じ方向を向いている | ● 吹き出し口の方角を調節してください。(→P16) |
| 水がこぼれる | ● 水タンク・本体内に水が入ったまま移動した | ● 移動するときは、先に水タンク・本体内の水を捨ててください。 |
| | ● 水タンクを、勢いよく取り外し・取り付けした | ● 水タンクについた水が飛び散ることがあります。水タンクはゆっくり取り出してください。 |
| | ● フロートがきちんと取り付けられていない | ● フロートをきちんと取り付けてください。(→P19) |
| 操作パネルに湿度が表示されない | ● おやすみモードになっている | ● おやすみモードボタンを押して、解除してください。(→P15) |
| 動作しない 01～05の表示 | ● センサーが異常を検知している | ● アイリスコールへお問い合わせください。 |
| 製品が誤作動する | ● お手入れの際に、排水方向を間違えた | ● 風通しのよい場所で、製品内部を乾燥させてください。 |

それでも解決できないときは
お買い上げの販売店、またはアイリス
コールへお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

仕様

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 電源 | AC100V 50 / 60Hz |
| 最大加湿量 | 500mL / h |
| 定格消費電力 | 110W |
| 連続加湿時間 | 約9時間 (強運転時) |
| 適用床面積 (目安) ※1 | 木造和室 : 14㎡ (8.5畳) プレハブ洋室 : 23㎡ (14畳) |
| タンク容量 | 約4.5L |
| 製品寸法 | 幅202×奥行218×高さ323mm |
| 製品質量 | 2.8kg |
| 付属品 | リモコン カルキ防止フェルト×予備1 アロマ用フェルト×予備1 |

※1 最大加湿量で連続加湿した場合。適用床面積は、保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されている期間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の加湿器の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- 水もれする
- 運転中に異常な音がする
- コードが傷ついている
- その他の異常や故障がある

▶
ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

上給水ハイブリッド加湿器 KHM-HBU501

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

| | | | |
|-------------------|----------|------|--------------|
| お買い上げ日 ※ 年 月 日 | | 保証期間 | お買い上げ日より：1年間 |
| お客様 | お名前 | | 住所・店名 |
| | ご住所 〒 | | |
| | 電話 () - | | 電話 () - |

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
- ⑤お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
- ⑥本書の提示がない場合
- ⑦本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール **0120-311-564**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

修理に関するお問い合わせ（通話料無料）

修理専用コール **0800-170-7070**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

給水についてのお願い

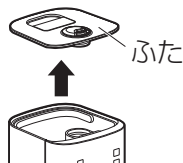
このたびはお買い上げありがとうございます。

本書はご使用前にお読みいただき、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

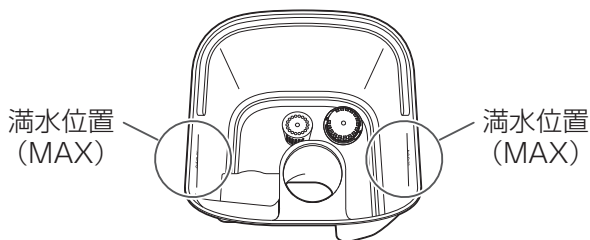
水タンクの満水位置より水を多く入れると、水があふれるおそれがあります。

給水の際は、以下の内容をお守りください。

- 給水をするときは、必ずふたを取り外してください。



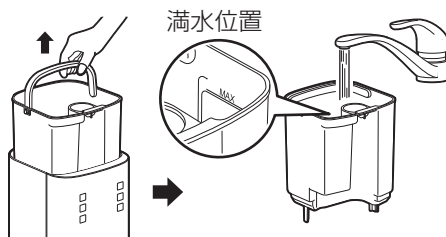
- 水が満水位置 (MAX) を超えないように給水してください。



水タンクをつけたまま
→ コップなどで入れる



水タンクを外して
→ 蛇口から水タンクに直接入れる



※ 本体に水を直接入れないでください。誤って入れた場合は、必ず水を捨て、水タンクを使用してください。